

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 6 月 26 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	柴田翔平

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
鹿児島県屋久島	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
フィールド科学実習 (屋久島実習)	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 29 年 5 月 13 日 ~ 平成 29 年 5 月 19 日 (7日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学 屋久島観察ステーション	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>本実習は Monkey and deer distribution group、Parasite group、Plant group の三班に分かれて行われた。私は parasite group に属し、屋久島に生息する哺乳類の消化管内及び外部寄生虫について調査を行った。</p> <p>5/13 屋久島に到着 5/14 調査 シカの消化管内寄生虫調査 5/15 調査 シカの消化管内寄生虫調査とダニ 5/16 調査 植物上のダニ採集とげっ歯類捕獲用の罠設置 5/17 調査 罠回収、げっ歯類の寄生虫調査 5/18 発表会 5/19 西部林道 解散</p> <p>屋久島には数種類の哺乳類が生息しているが、彼らの消化管内寄生虫についてはほとんど報告がない。本実習では、シカの消化管内寄生虫、げっ歯類の内部寄生虫、及び外部寄生虫であるダニの調査を行った。</p> <p>屠殺場から頂いた合計 5 頭のシカの消化器官から、8 個体の内部寄生虫を発見した。捕獲したヒメネズミの糞からは、大量の寄生虫卵が発見できた。また、シカ、ヒメネズミ、地表の植物からダニを採集した。ゲノム実習では、採集したダニを用いて、系統解析を行った。</p> <p>私はこれまで寄生虫について研究した経験がなかったため、この実習での活動は全てが新しく刺激的なものであった。寄生虫についてだけでなく、反芻動物の消化管の特徴についても学ぶことができた。Parasite group のメンバー 5 人のうち 3 人は外国人メンバーであり、日常会話から調査に関するディスカッションまで全てのコミュニケーションを英語で行うことに苦しんだ。しかし、自分の英語能力そのものや英語学習への意欲を高めることができる良い機会であった。</p>	
	
小腸内側表面の寄生虫	植物から採取したダニ

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



ヒメネズミ



線虫の卵

6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS リーディング大学院プログラムの援助を受けて行われました。実習中は野中先生(宮崎大学)、岡本先生、澤田氏に大変お世話になりました。感謝申し上げます。